令和８年度診療科別目標発表

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

消化器内科

消化器内科のミッションと経営ビジョン

『市民の命を守り，地域医療を拓く』

『健全経営』と『高度急性期医療・高度がん医療』

の両立を果たす『藤枝モデル』の確立

消化器内科

医師の紹介

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

高度専門医療を牽引する11名のスペシャリスト体制

No	氏名	役職等	
1	丸山　保彦	副院長、内視鏡センター長	消化管
2	吉井　重人	消化器内科部長、がんゲノム医療センター長	
3	景岡　正信	光学診療科部長、第一科長	胆・膵
4	大畠　昭彦	第二科長	
5	寺井　智宏	第三科長	炎症性腸疾患
6	松浦　友春	医長	コアメンバー
7	星野　弘典	医長	
8	山田　久修	医員	次世代エキスパート
9	山田　健太	医員	
10	杉本　祥拓	医員	
11	酒井　学真	医員	

消化管、胆膵、炎症性腸疾患の各領域を網羅し、シームレスに機能する専門医チーム

消化器内科

医師の紹介

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital



No
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

消化管・膵胆・炎症性腸疾患の各領域を網羅したラ　エレベル化機能する特徴ラ　ム

診療実績等

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

消化器内科

主な診療実績	R5	R6	R7
外来患者数	133．7人／日	134．5人／日	137．4人／日
入院患者数	49．9人／日	47．4人／日	50．0人／日
新入院患者数	145．3人／月	147．5人／月	150．8人／月

DPC病名別 症例数	R5	R6	R7
胆管(肝内外)結石、胆管炎	223人／年	226人／年	246人／年
膵臓の腫瘍	124人／年	121人／年	175人／年
穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患	123人／年	122人／年	123人／年
胃の悪性腫瘍	102人／年	79人／年	102人／年
食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）	88人／年	96人／年	100人／年
結腸（虫垂を含む）の悪性腫瘍	86人／年	102人／年	83人／年
小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍含む）	84人／年	103人／年	86人／年

※girasol抽出データ（MDC6分類）による

ピーター・ドラッカーの要諦

成果は常に組織の外部に存在する

病院の存在意義は、**市民**の**生命を守り**、

地域社会に**安心を提供**すること.

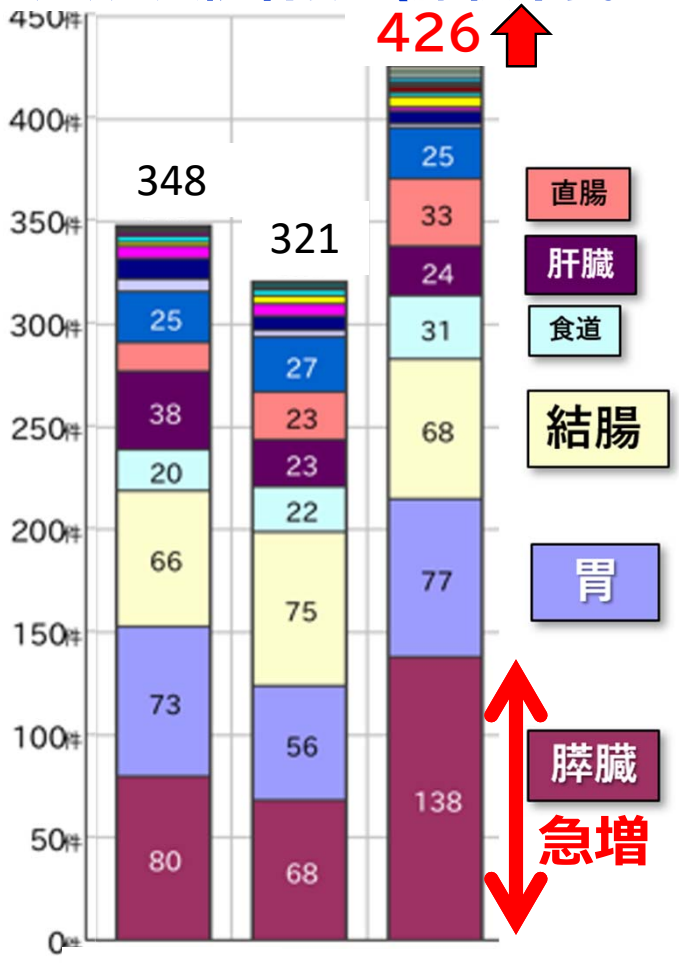
藤枝市民の消化器・悪性腫瘍の入院件数が32.7%増加し，地域がん医療の『地元完結』が大きく前進

■ 藤枝市民の**悪性腫瘍**入院件数：
・321件（R6年）➡ 426件（R7年）へ急増(+32.7%).
・胃・大腸はもとより、**膵臓がん**など**難治性がん治療**が藤枝市内でほぼ完結していることを証明.

■ 藤枝市民の入院件数が年々増加：年間1,405件に到達.
さらに焼津市（150件）・島田市（65件）・牧之原市（77件）・吉田町（72件）・など、近隣自治体からも厚い信頼を獲得.

■ 医療資源の最大活性化：新入院患者数は1ヶ月平均150.8人へ増加.
地域中核の高度急性期医療機関として、極めて高効率な病床稼働と市民貢献を両立。

悪性腫瘍 入院件数（藤枝市民のみ）



※出典：girasol抽出データによる

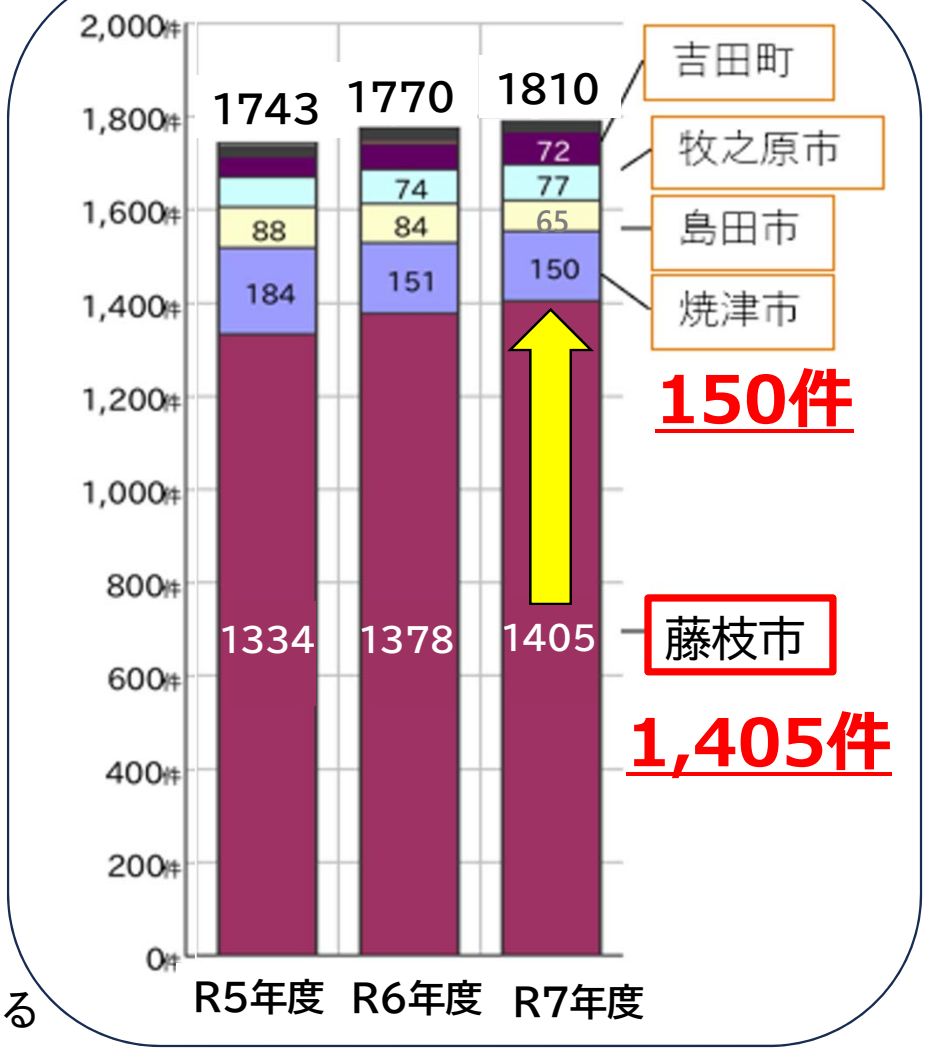
藤枝市民の入院件数が年々増加し，年間1,405件に到達

■ 藤枝市民の悪性腫瘍入院件数：
321件（R6年）➡ 426件（R7年）へ急増（+32.7%）.
胃・大腸はもとより、膵臓がんなど難治性がん治療が藤枝市内で
ほぼ完結していることを証明.

■ **藤枝市民の入院件数が年々増加：年間1,405件に到達.**
・さらに**焼津市（150件）**,島田市（65件）,牧之原市（77件）,
吉田町（72件）など、**近隣自治体からも厚い信頼**を獲得.

■ 医療資源の最大活性化：新入院患者数は1ヶ月平均150.8人へ
増加.
地域中核の高度急性期医療機関として、極めて高効率な病床稼働と
市民貢献を両立。

当科・入院件数（住所別）



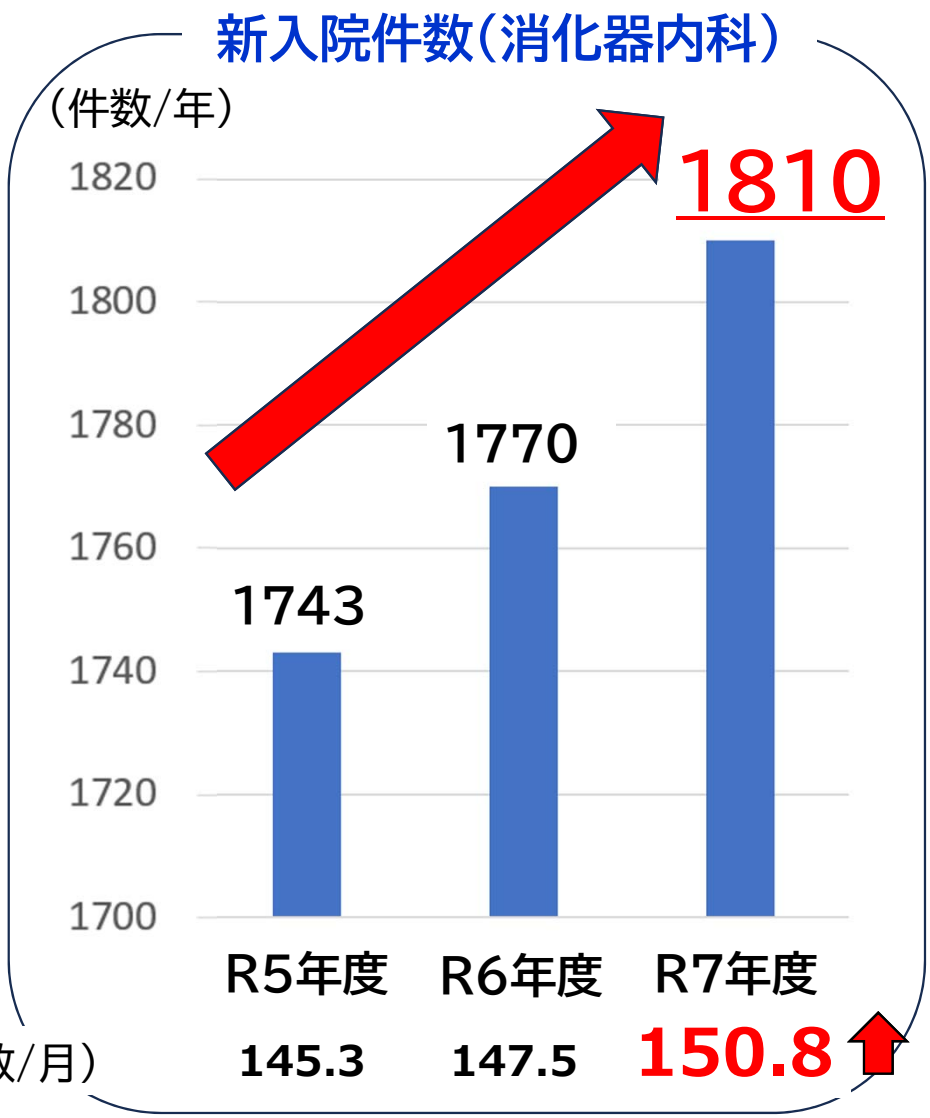
※出典：girasol抽出データによる

医療資源の最大活性化：新入院患者数は1ヶ月平均150.8人へ増加

■ 藤枝市民の悪性腫瘍入院件数：
321件（R6年）➡ 426件（R7年）へ急増（+32.7%）.
胃・大腸はもとより、膵臓がんなど難治性がん治療が藤枝市内で
ほぼ完結していることを証明.

■ 藤枝市民の入院件数が年々増加：年間1,405件に到達.
さらに焼津市（150件）・島田市（65件）・牧之原市（77件）・
吉田町（72件）・など、近隣自治体からも厚い信頼を獲得.

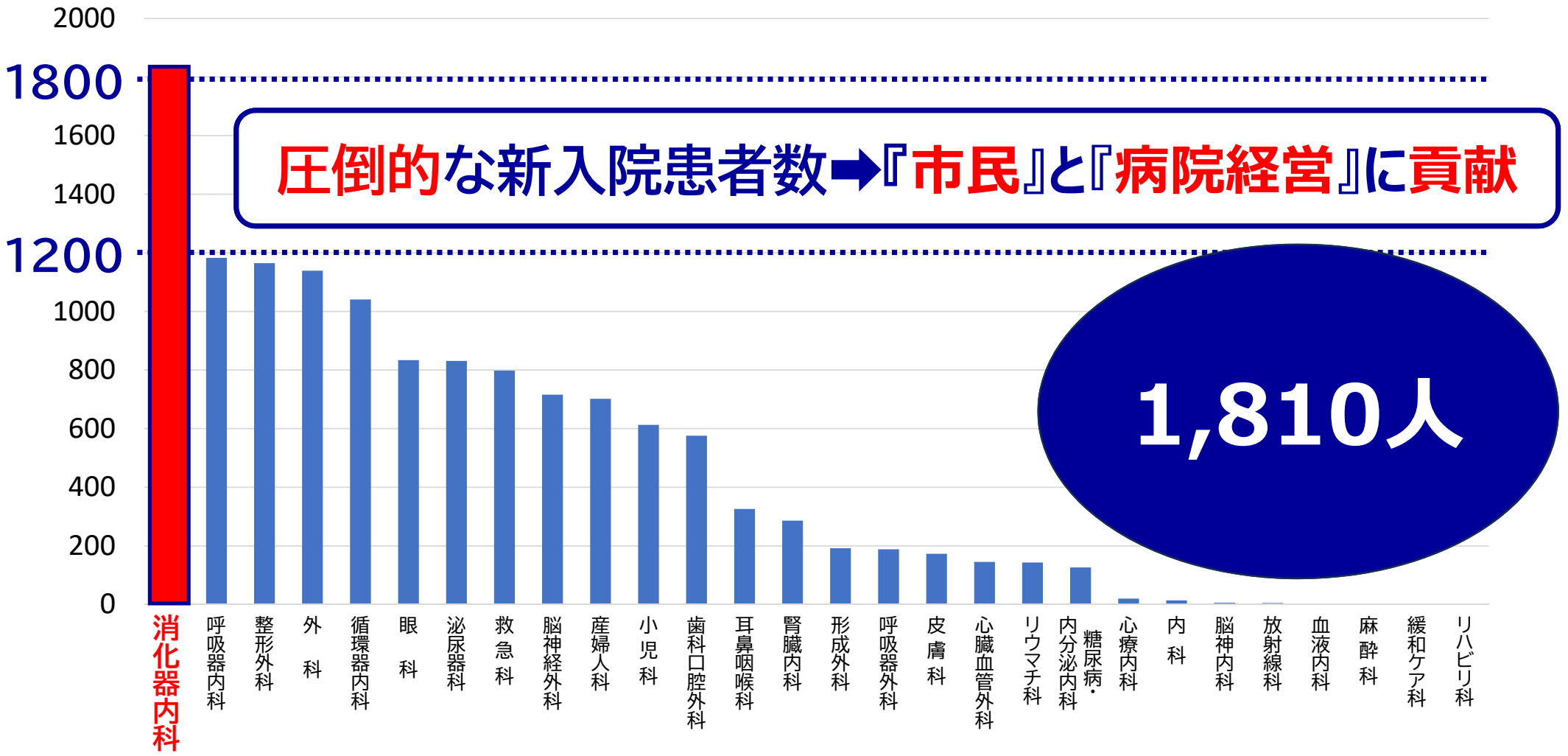
■ **医療資源の最大活性化：新入院患者数は年間1,810人、月150.8人へ増加.**
・地域中核の高度急性期医療機関として、**極めて効率的な病床稼働**と**市民貢献**を両立。



2025年度 全科・新入院患者数

入院

（患者数）



ピーター・ドラッカーの要諦

組織の目的は顧客の創造である

公立病院における『**顧客**』とは、『**市民**』であり、同時に

患者を紹介してくれる『**地域開業医**』である.

「３つの即応体制」で地域開業医の信頼を確立し、多くの新入院患者数を維持

※ドラッカーの要諦：「組織の目的は顧客の創造である. したがって基本的な機能はマーケティングと革新である」

- 公立病院における「顧客」とは、『**市民**』であり、同時に患者を紹介してくれる『**地域開業医**』である。
- 独自の**3つのアプローチで強固な連携**を築いている。

1 救急・緊急紹介の積極的受け入れ

「断らない急性期医療」の実践

- 消化器救急疾患に対し、昼夜を問わず即座に受け入れる体制を確立。
- 地域の医療機関に**『いつでも任せられる』**という**絶対的な安心感**を提供し、紹介ルートを強固にしている。

2 紹介患者の予約日の迅速な決定

診療までのタイムラグを極小化

- 診療予約の決定を極めて迅速に行い、開業医と患者の待ち時間や不安を最小限に抑えている。
- 高度な専門医療へ直結させるための**『連携の即応性』**が選ばれる理由。

3 紹介患者の丁寧な報告書の迅速な作成

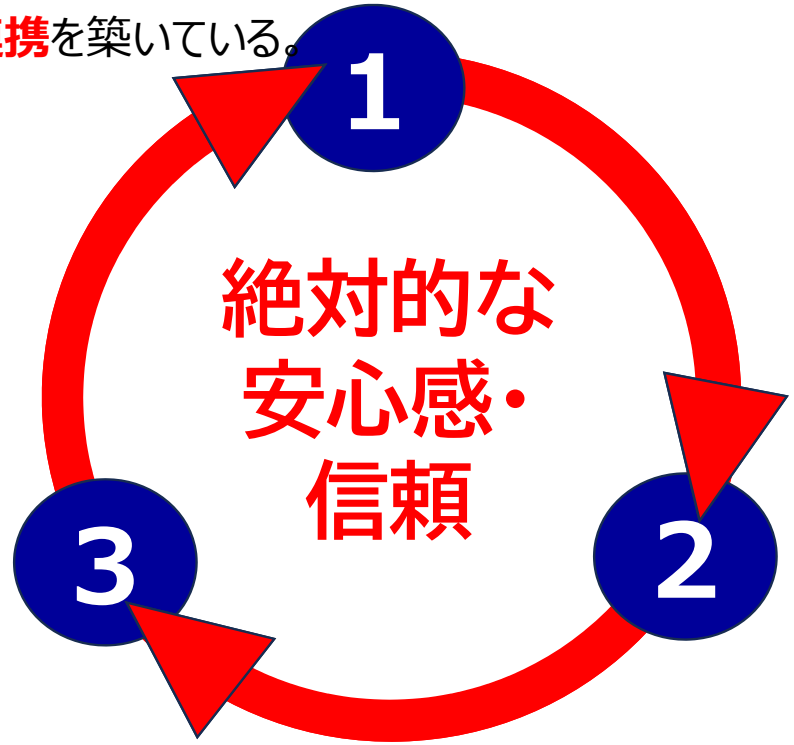
双方向のクローズド・ループ連携

- 検査・治療結果の詳細を網羅した丁寧な返書を、極めて迅速に開業医へ発送。
- お互いの医療の透明性と安心感を高め、**『パートナーとして信頼関係』**を恒久化。

「３つの即応体制」で地域開業医の信頼を確立し、多くの新入院患者数を維持

※ドラッカーの要諦：「組織の目的は顧客の創造である. したがって基本的な機能はマーケティングと革新である」

- 公立病院における「顧客」とは、『**市民**』であり、同時に患者を紹介してくれる『**地域開業医**』である。
- 独自の**3つのアプローチで強固な連携**を築いている。



ループが高速回転することで，地域開業医との強固な連携ルートが構築される.

ピーター・ドラッカーの要諦

強みの上に築け（強みに集中する）

11名の専門医師チームがそれぞれの強みを最大限に発揮し、高度かつ安全な臨床成果を達成.

膵腫瘍治療が44%急増するなど、11名の専門チームが強みに集中してイノベーションを牽引

■ 11名の高度専門医体制

消化管専門、胆膵専門、炎症性腸疾患専門に加え、中堅・若手を含む11名がシームレスに機能.

■ 難治性胆膵疾患の急激な治療件数拡大

・**膵腫瘍**：121人/年(R6) → 175人/年(R7) へ**飛躍的増加(+44.6%)**

・胆管結石、胆管炎：226人/年(R6) → 246人/年(R7) へ拡大.

■ 悪性腫瘍治療の活性化

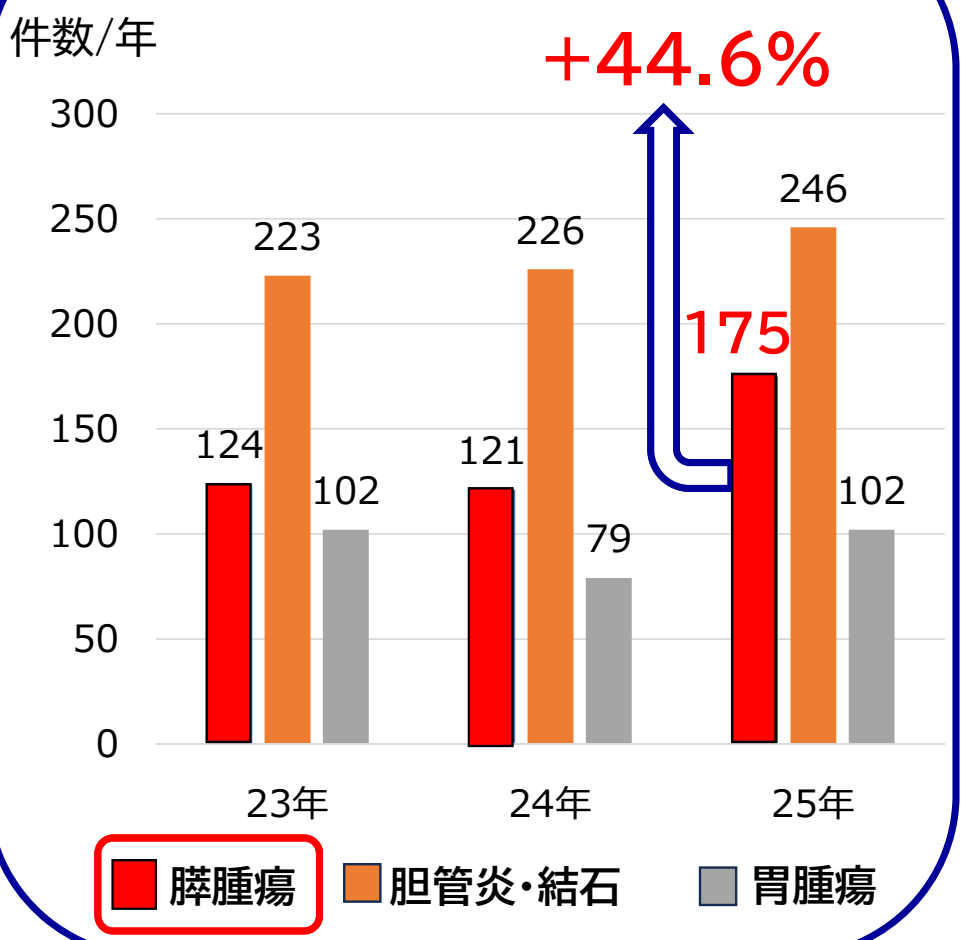
・胃悪性腫瘍：前年の停滞から回復し 102人/年(R7) へ到達 .

・**高度がん化学療法、低侵襲・内視鏡治療**など**強み領域**で**高難度DPC症例を実現**.

■ 炎症性腸疾患数の増加

・難治性炎症性腸疾患の紹介患者の増加.

専門領域症例件数



専門性を磨き上げる

※ドラッカーの要諦:「強みの上に築け(強みに集中する」

1 静岡がんセンターとの遠隔医療プロジェクト

- Webを介して、静岡がんセンターとがん薬物療法について定期的にミーティングを行い，薬物療法のスキルアップを図る.



2 各種臨床試験

- 大腸がんの薬物臨床試験
  (西日本がん研究機構主導)
- 自己免疫性胃炎研究
  (日本消化器内視鏡学会主導)
- 総胆管結石の臨床試験
  (日本胆道学会主導)
- 膵癌リスク・臨床研究
  (企業治験)　・・・ etc.

3 学会活動

- 各種専門学会への積極的な参加・発表を通して，最新の知識を吸収.
- 若手医師の奨励賞受賞.

藤枝大腸がん死撲滅プロジェクト（案）（藤枝モデル）

国内の大腸がん罹患数は第1位、死亡数は第2位。しかし、早期発見で5年生存率9割を超える。

大腸がん検診（便潜血検査）の逐年受診勧奨

❶ ナッジ

↓

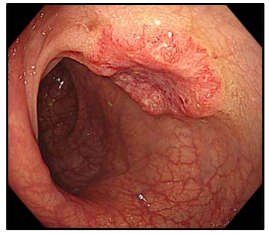
陽性者のスクリーニング

↓

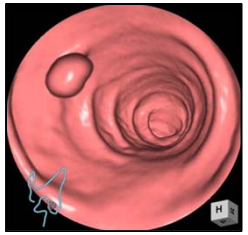
要精検者による選択

❷

【通常ルート】
大腸内視鏡検査



【トラウマ/不安回避ルート】
大腸CT検査



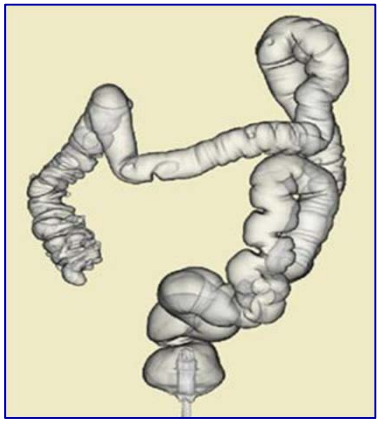
↓

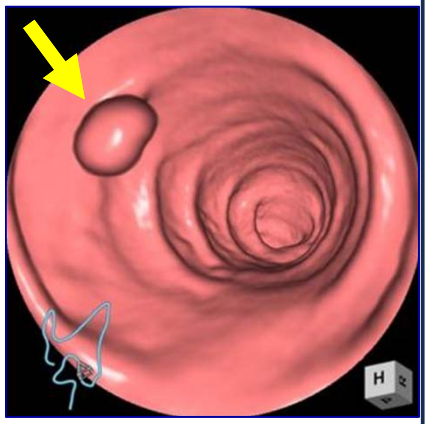
がんの早期発見と早期治療

↓

この取り組みを『藤枝モデル』として全国に発信する

大腸CT検査



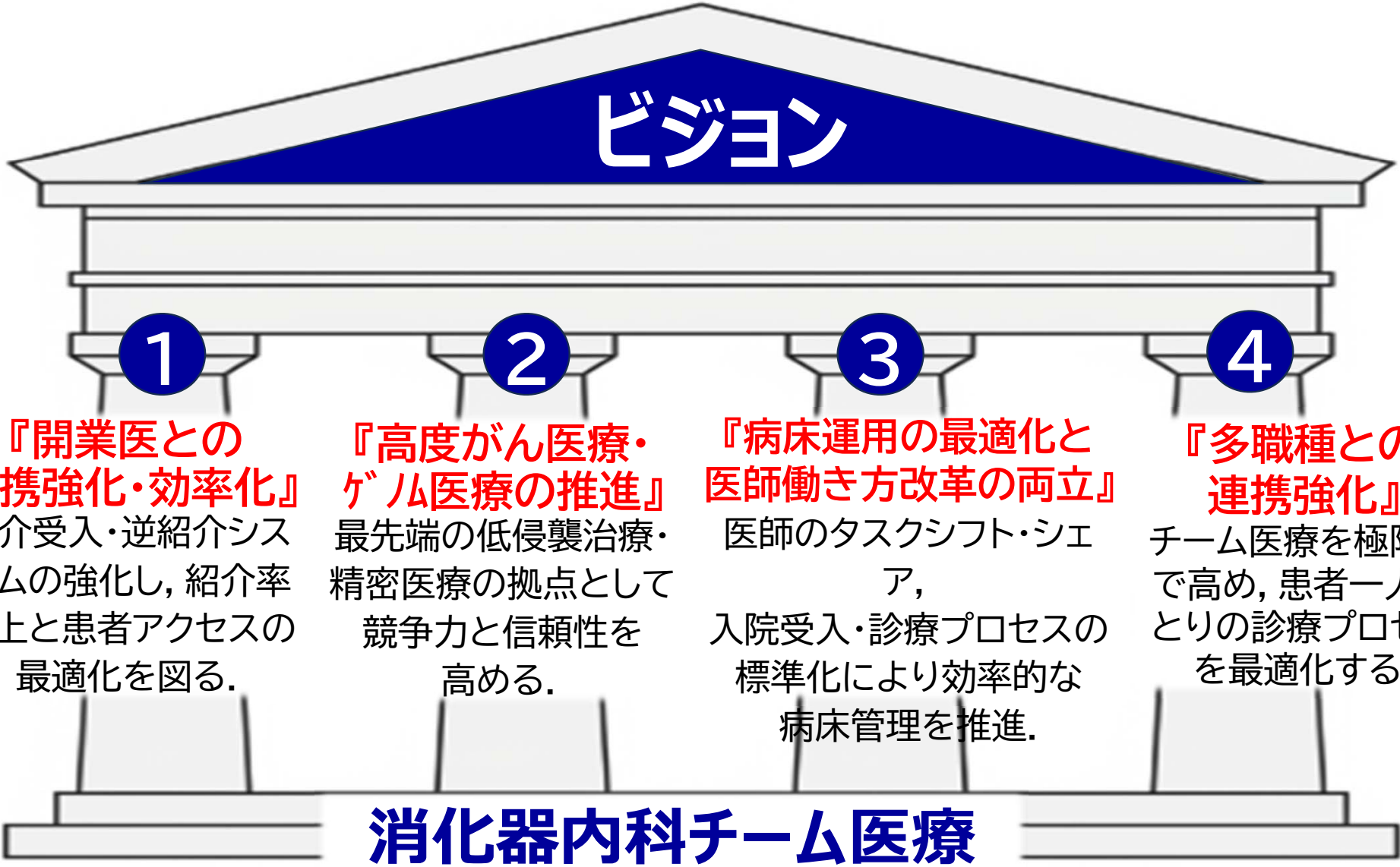


CTで大腸を撮影し、コンピューター処理によって大腸の3次元画像を作成

体への負担が少ない

中間目標・令和9年度に目指す姿

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital



決意

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

消化器内科

我々は,『連携・効率化モデル』をさらに進化・発展させる.

『健全経営』と『高度医療』を高次元で両立させ、

当院の『収益性』と『市民価値』の最大化を実現する.

『 次世代･藤枝モデル 』

藤枝バーチャルホスピタル構想



Gemini Notebook

デジタルネットワークで**地域全体**を**1つの『仮想病院』**
へ統合するパラダイムシフト